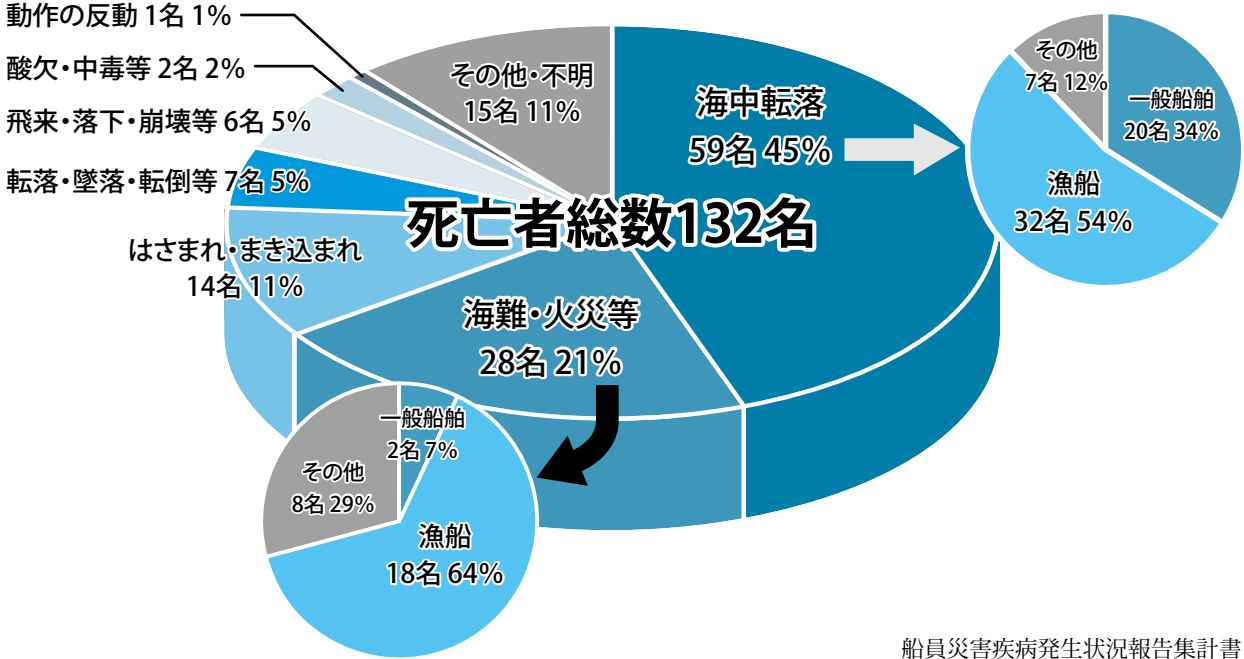


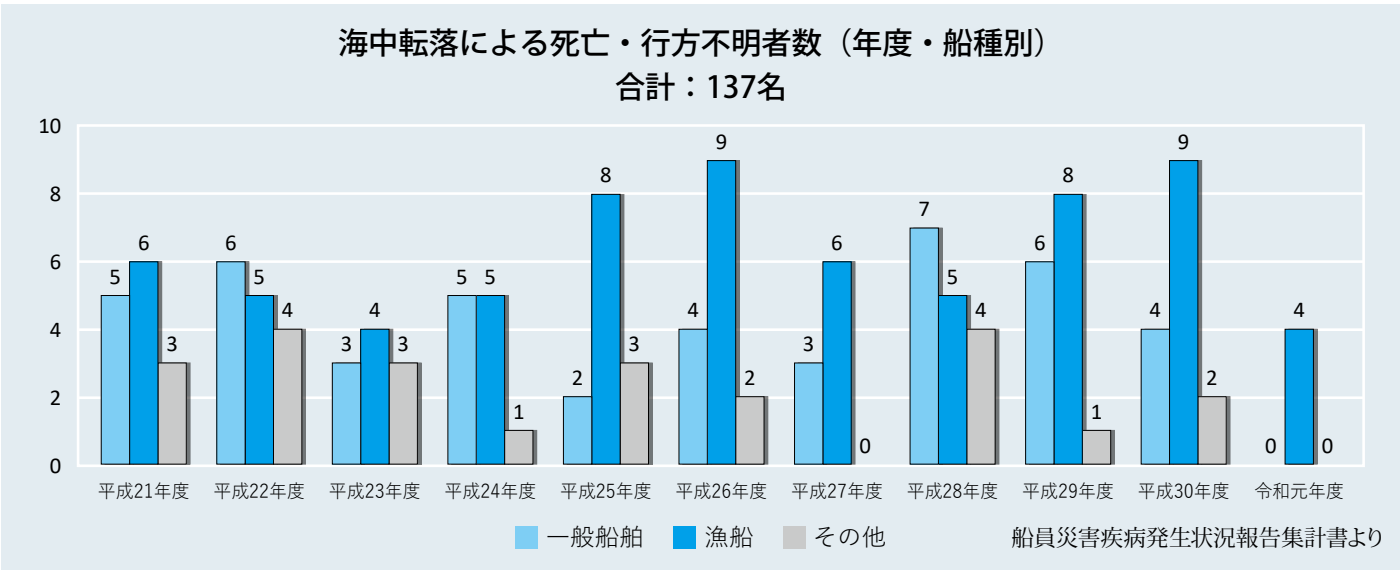
船員の死亡災害防止は海中転落予防から

死亡・行方不明災害発生状況 5年累計(平成27度-令和元年度)



5年間の死亡災害を円グラフで示したものです。なかでも、海中転落による死亡者数は59名45%にもおよびます。

「救命衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「暴露甲板上での単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

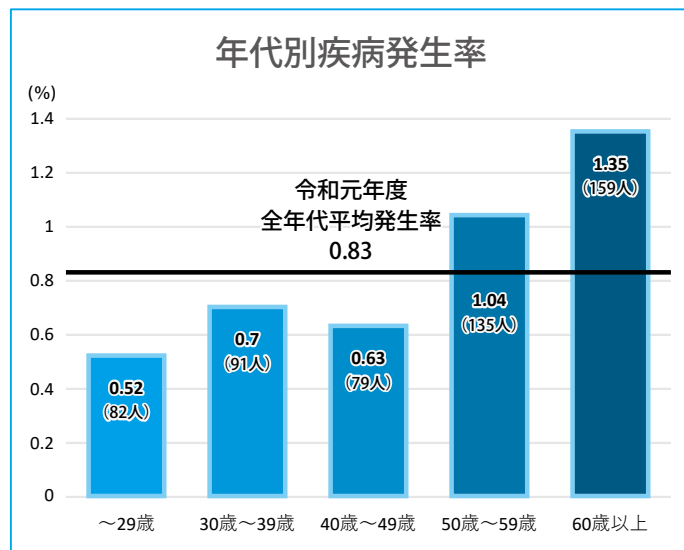
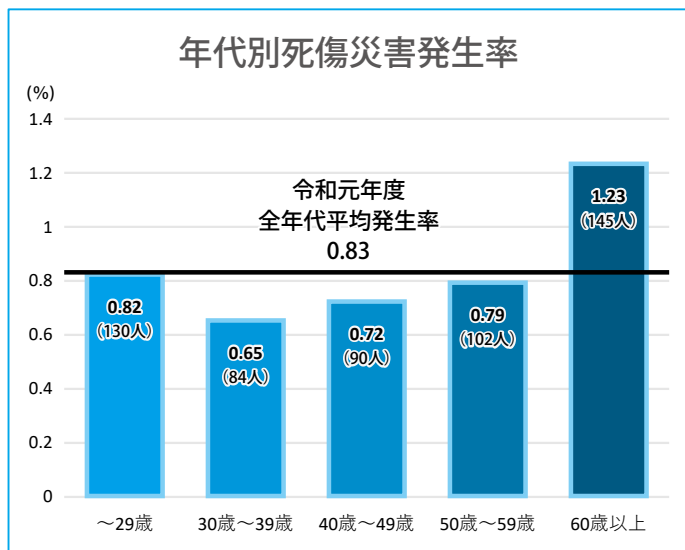


上のグラフは平成21年度～令和元年度までの、海中転落による死亡・行方不明者数を年度・船種別に示しています。

海中転落の可能性のある業務では、作業者に遭難信号発信器等を携帯させることも検討しましょう。

死傷災害と疾病の発生は高齢者に多い

令和3年度船員災害防止実施計画より

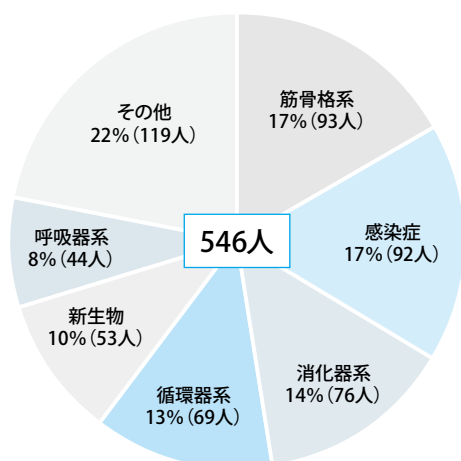


令和元年度の年代別死傷災害は、60歳以上の高齢船員の発生率が非常に高くなっています。原因の多くは「加齢による身体機能の低下」、「慣れによる油断」、「自己流の一人作業」などです。

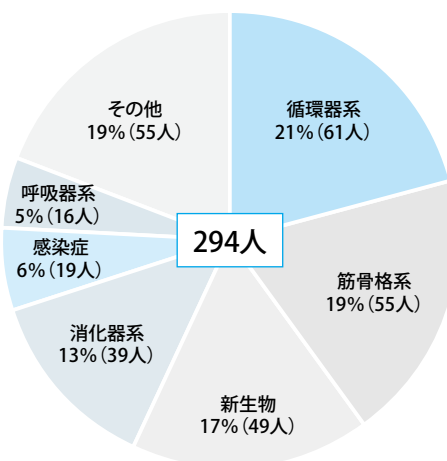
年代別疾病は、50歳代から発生率が高くなり、60歳以上へと急騰しています。常日頃より、自分の健康状態を把握しておきましょう。

船員の疾病予防は生活習慣の改善から

全船員



高齢船員 (50歳以上)



全船員の疾病の種類別発生状況では、筋骨格系疾患、感染症、消化器系疾患及び循環器系疾患が高い割合を示しています。

高齢船員では、高血圧などの循環器系疾患、筋骨格系疾患、新生物（ガン）、消化器系疾患などが多く発生しています。

これらは、いずれも生活習慣病が大いに関わっています。生活習慣を変えることで健康維持に努めるよう心掛けましょう。